

# 「特別活動」活動案

平成 27 年 6 月 17 (水)

対象児童 3～6 年生 20 名

## (1)テーマ

「ペーパークロマトグラフィ」

## (2)活動のねらい

班で協力して話し合い、まとめた意見を発表する力をつける。

まっ黒に見える色が、実はさまざまな色を混ぜて作られていることを知る。

## (3)準備物

紙 (コーヒーフィルター・ペーパーナプキン・半紙・ろ紙)、水性ペン、水、プラコップ or 洗面器、ワークシート

## (4)展開

時間 (40 分)	児童の活動	指導者の支援
5 分	○学生の話静静地に聞く。	●ペーパークロマトグラフィのやり方を説明する。 ●学生が作成した「色見本」と「ワークシート」を各班に配布する。
20 分	○班のかたちに机を移動する。 ○それぞれのグラデーションが、どの水性ペンで作成したものかを班で考え、ワークシートに書き込む。	
15 分	○班の代表者が意見を発表する。 ○グラデーションのでき方を理解した上で、自分の好きな作品を作成する。	●全ての班の発表が終わったら、答え合わせをし、なぜそうなるのかを簡単に説明する。

## [活動を終えての感想 (成果及び課題)]

反省点は、説明不足だったことです。児童に班で話し合いをさせる前に、クロマトグラフィについてもう少し詳しく話すべきでした。また、「全部の色を混ぜると黒になるから、黒の水性ペンは一番多くの色に分かれるんだよ」という内容も伝えるとより理解が深まったと思います。今後は活動で話す内容について事前に抜け漏れの無いように準備したいと思います。

班活動では前期目標である「発表する力」を意識し、前に出てきてもらい発表しました。やはり高学年はきはきと発表していましたが、低学年は緊張や恥ずかしさがあり、声が小さかったり、全体に向けてではなく一人の学生の顔を見ながら発表していました。今後、このような発表の活動を続けていくことで、人前で発表することに慣れていってほしいと考えています。